

# 2023年 活動実績

2024年6月21日

一般社団法人 EMOBIA (エモビア)

## 目次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション
2. 取組み背景：国内外の動向
  - ① ITSの大変革 ②世界のEV急拡大 ③自動運転の動向
3. 2023年 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ  
データから考える地域の課題解決 WS参加者アンケート分析
4. 2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
6. アカデミーITSモビリティ研究会開催概要
7. 2023年度 取組み体制
8. 活動計画・実績表 2023年度活動実績

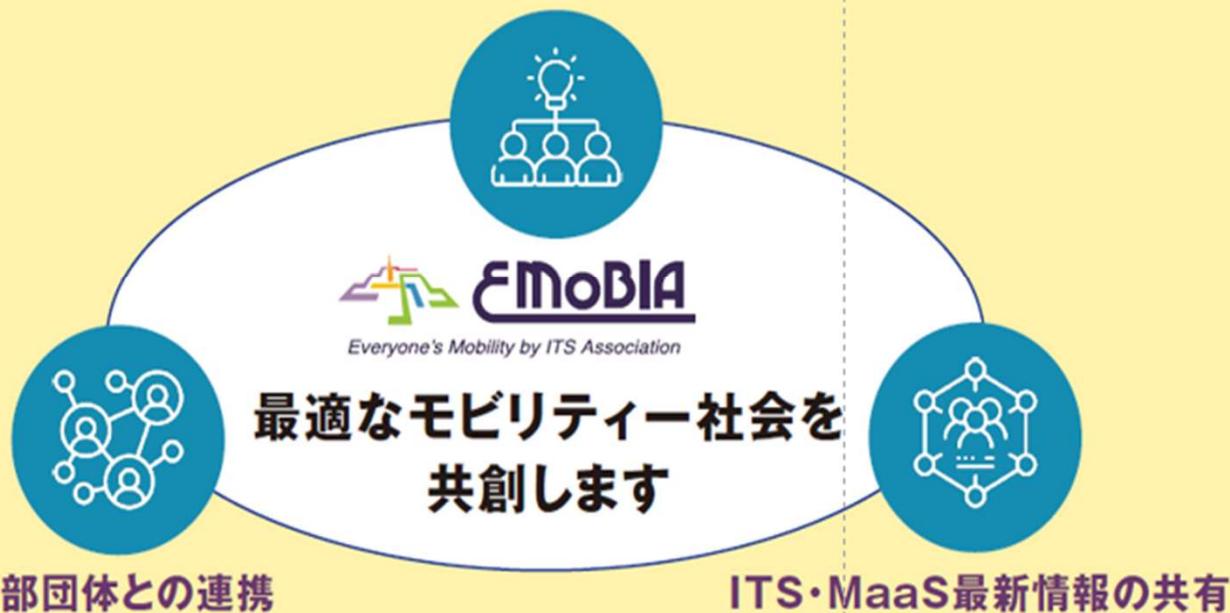
# 一般社団法人EMoBIAについて

## MISSION

地域公共交通を始めとするモビリティサービスを対象に、最先端ITS・MaaSを活用した研究及び事業開発等と普及促進を図ることで、地域社会における安全安心、快適性、利便性の提供、更にはグローバルな住み良いまちづくりの実現を目指します。

### 会員企業間の協調・共創

### 活動内容



- ・調査研究及び開発
- ・ビジネスモデルの発見・発明・創出
- ・データと先端技術による地域課題対策・まちづくり
- ・人材交流・育成・協業
- ・AI・画像処理技術者育成
- ・国際フォーラム招致
- ・国際協力・協業 等

## 目次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション
2. 取組み背景：国内外の動向
  - ① ITSの大変革 ②世界のEV急拡大 ③自動運転の動向
3. 2023年 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ  
データから考える地域の課題解決 WS参加者アンケート分析
4. 2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
6. アカデミーITSモビリティ研究会開催概要
7. 2023年度 取組み体制
8. 活動計画・実績表 2023年度活動実績

背景：国内外の動向①

ITSの大変革

世界のモビリティ取り組み：CASE, MaaS

CASE 実現の鍵、ソフト・NWが握る  
ソフト主導車両 SDV

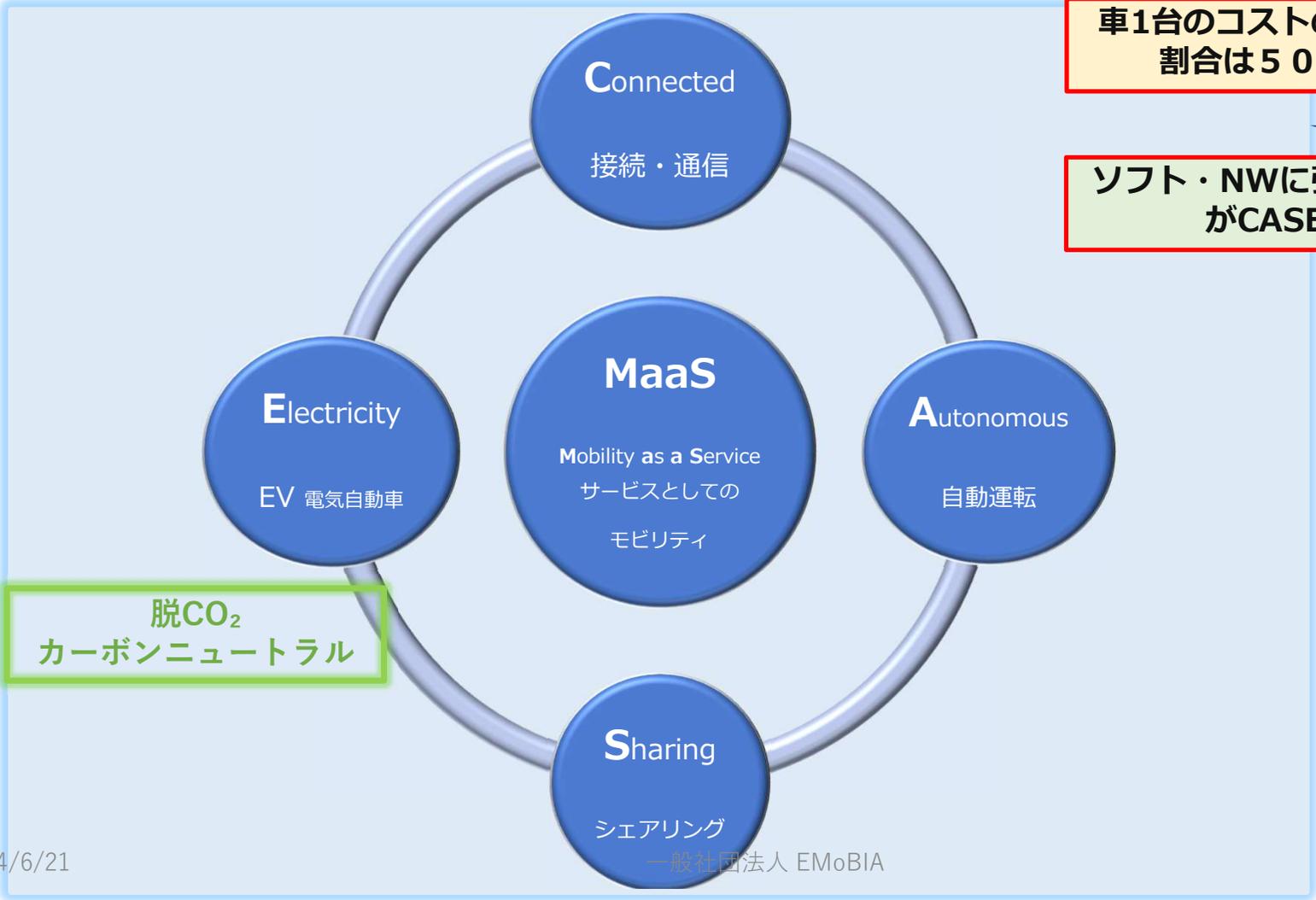


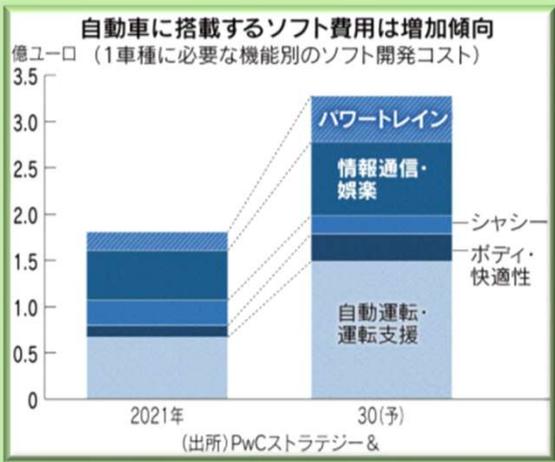
車1台のコストの内、ソフト・NWの割合は50%へ (2030年)

ラックスリサーチ調査 (米国)



ソフト・NWに強い異業種・新興企業がCASEをリードする





ホンダ、ソフト  
人材倍増  
トヨタは900人  
再教育  
電動化の競争

nikkei20230530

### 自動車業界でソフト人材の獲得競争が進む

ホンダ	協業先を含めて2倍の1万人に
トヨタ自動車	25年までに9000人を再教育
日産自動車	年間100人規模で養成
米GM	技術部門の報酬体系をIT大手と同水準に
デンソー	部品技術者1000人を25年までに転身
独ポッシュ	世界40万人の全社員を再教育

- ・ 電動化や自動運転が普及すると、車の競争力はハードよりもソフトが左右する。
- ・ 「ソースコード」と呼ばれるコンピューターに指示を与える文字列はすでに1億行を超えた。
- ・ 車載ソフトが生み出す利益の規模は21年の100億ドル(約1兆4000億円)から35年には260億ドル(3兆6400億円)になる
- ・ ソフト重視のクルマづくりで先行する米テスラは、好採算なソフト販売で収益力を高め、1台当たりの純利益はトヨタの約5倍稼ぐ。
- ・ ソフトを収益につなげる仕組みづくりも重要となる。

更に、エヌビディアのGPU等、AI、データセンターの急拡大等でソフト人材の競争激化

2024/6/21 **ホンダとSCSKが提携 ソフト技術者1000人確保へ** 20230708  
scsk:住商コンピューターサービス株式会社 EMOBIA

背景：国内外の動向②

世界のEV急拡大

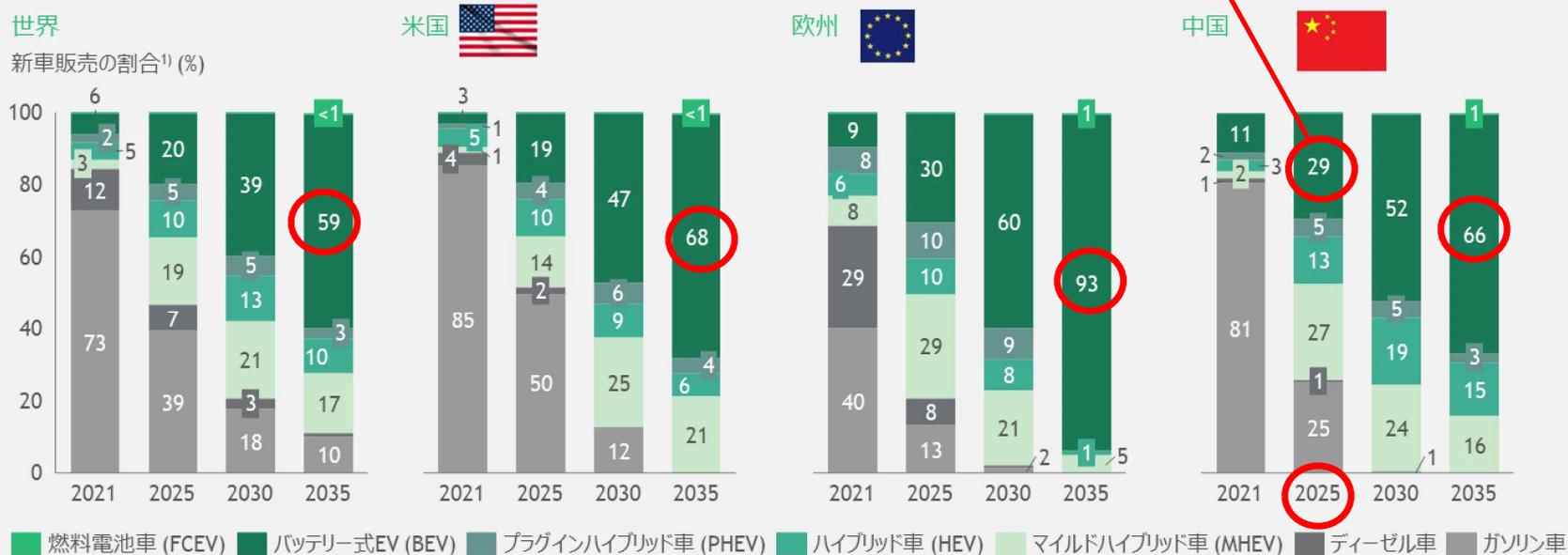
EVは走るエッジコンピュータ：データを高効率・高速処理し利活用

2022年中国のEVは590万台→2023年949万台に達し、市場普及率は31.6%  
2022年度、欧州260万台（15%増）、米国99万台（55%増）

世界全体BEV

2023年16.7%→2025年20%→2030年39%→2035年59% （2035年米国68%、欧州93%、中国66%）

図表1: 世界の新車販売に占めるBEVの割合は、2025年に20%に達すると予測



1: 乗用車、スポーツ用多目的車 (SUV) 等を含む。大型商用車は除く  
注: 各年のパーセンテージの合計は必ずしも100%にはならない

背景：国内外の動向②

世界のEV急拡大

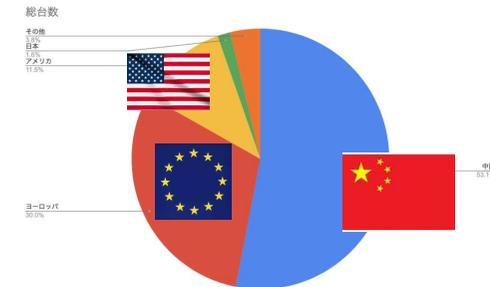
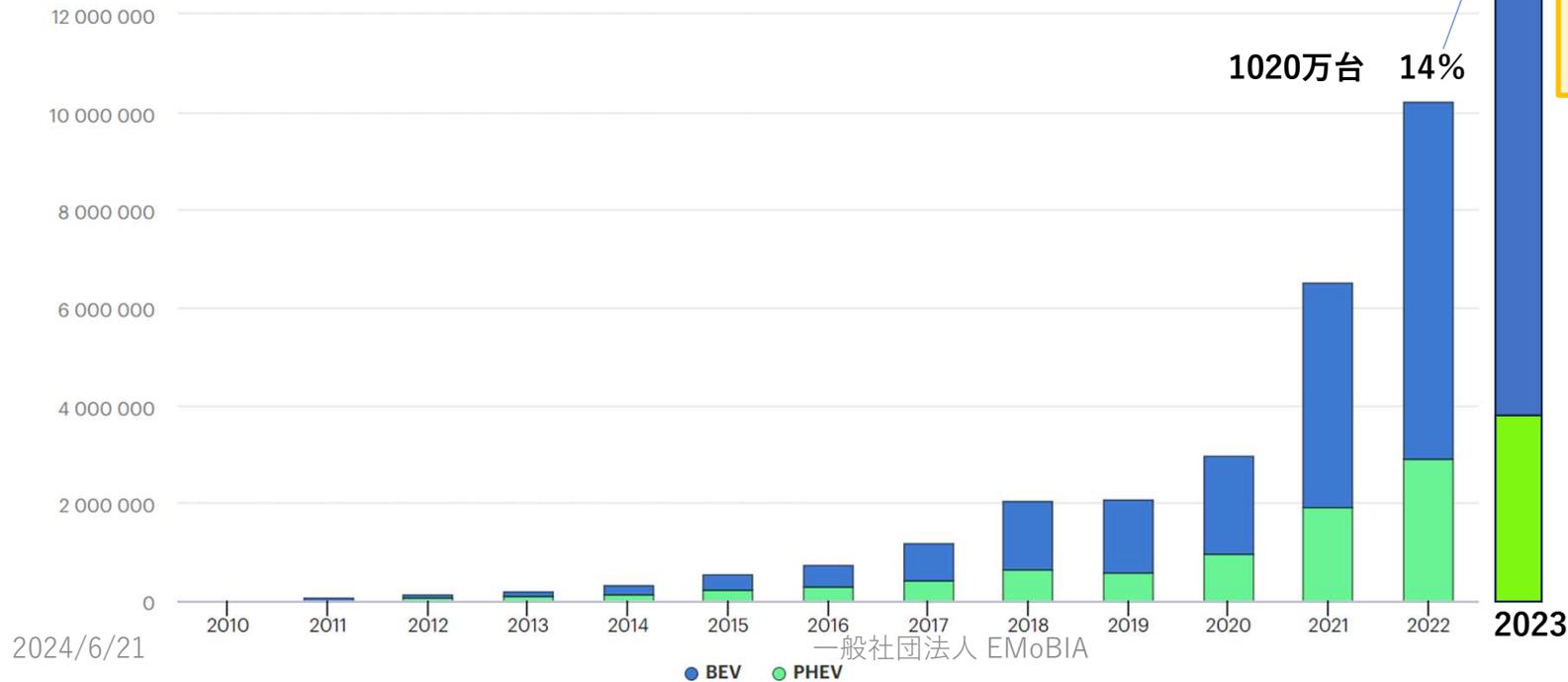
EVは走るエッジコンピュータ：データを高効率・高速処理し利活用

2023年 1370万台／8163万台 = 16.7% BEV 950万台／8163万台 = 11.6%  
2022年 1020万台／7285万台 = 14.0%

世界の新車販売台数に占める電気自動車  
(BEV・PHEV\*)  
の比率は、2023年時点で16.7%

2023年

中国は世界最大の自動車市場  
中国の自動車世界販売台数  
3009万台／8163万台 = 36.8%



世界のBEV・PHEVの総台数シェア

2024/6/21

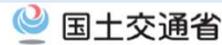
一般社団法人 EMOBIA

# 背景：国内外の動向③ 自動運転の動向：自動運転の実現に向けた取り組みについて

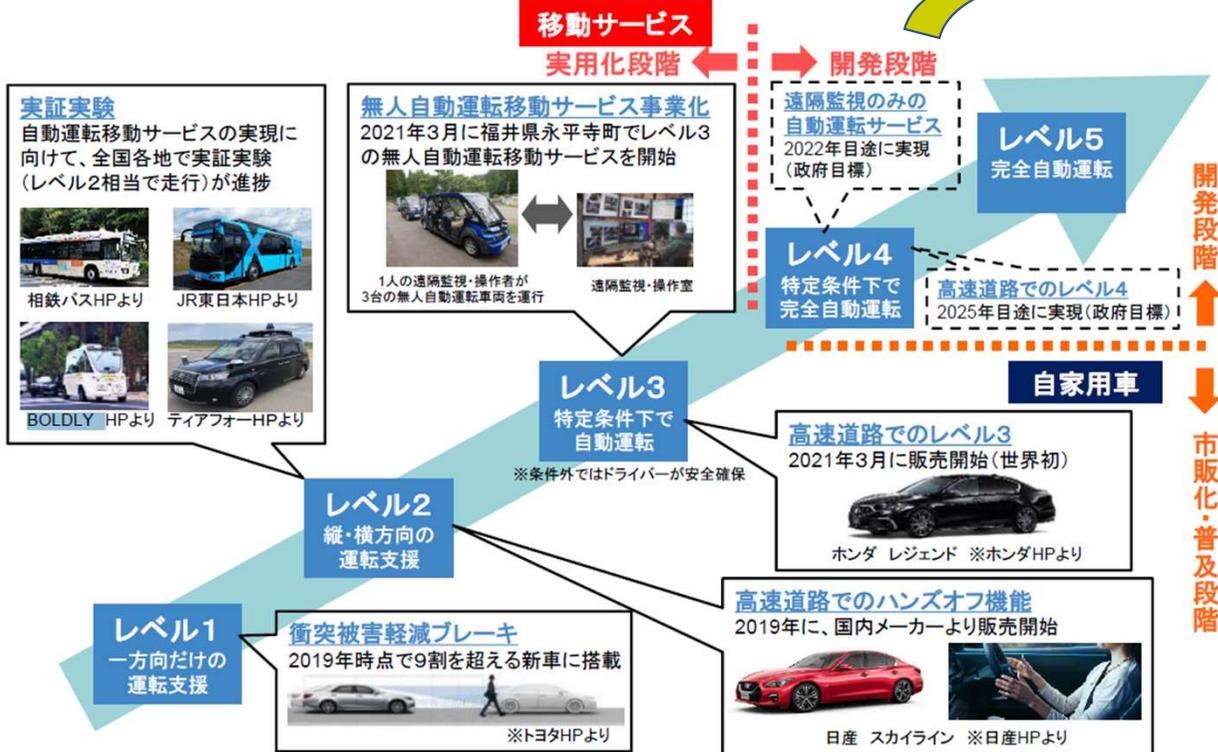
令和4年3月22日（火）国土交通省自動車局

令和4年3月22日（火）国土交通省自動車局  
自動運転戦略室長 多田善隆

## 自動運転技術の現状と政府目標



自動運転技術搭載車の開発、実証実験、実用化が計画に従って着実に進められている。



## 世界の動向

### 自動運転の動向

AV ? → EV ⇒ AV

1/3日 (93)

■ CES2023、自動運転バブル崩壊後、現実主義に戻る

▶自動車会社の幹部は、使える資金が限られているため、AVを犠牲にしてEVIにリソースを投入している。

### 政府目標

【移動サービス】遠隔監視のみ(レベル4)の移動サービスの実現に向けた取組 国土交通省 経産省・国交省プロジェクト

【政府目標】

限定エリアでの遠隔監視のみ(レベル4)自動運転サービスを実現(2022年目途)

#### 遠隔監視・操作型 (レベル3) 自動運転サービスの実現

2021年3月、自動運行装置搭載車 (レベル3)として認可(永平寺町)



1人の遠隔監視・操作者が3台の無人自動運転車両を運行



車両に福井県版図柄入りナンバープレートを装着



遠隔監視・操作室

#### 遠隔監視のみ (レベル4) 自動運転サービスの実現に向けた取組

廃線跡等の限定エリアで、低速車両、遠隔監視のみ(レベル4)自動運転サービスを実現

<取組>

▶ 車両、システムの高度化

▶ 事業モデルの構築

▶ 遠隔監視での1:Nの拡大に向けた実証等

## 背景：国内外の動向③ 自動運転の動向：海外での自動運転タクシー状況



- ・米Waymoが米アリゾナ州で2018年12月、セーフティドライバーを同乗する形で有償の自動運転タクシーサービスを開始
- ・カリフォルニア州でもWaymoとGM・Cruiseが自動運転タクシーのサービス実証を始めるなど、エリア拡大が活発化



中国では、[百度 \(Baidu\)](#) を筆頭にWeRide、AutoX、Pony.aiなどの開発企業が北京や上海、深センなどの都市でサービスを開始している

中国の首都 北京で2023年3月から始まった完全自動運転タクシー



車内のパネルでボタンを押すと自動で走り始めました。

[先を越されたか？中国で自動運転による無人タクシー営業中 | NHK | ビジネス特集 | 中国](#)

2024/6/21

一般社団法人 EMOBIA

今は限られたエリアで、バスの停留所のように決められた場所を結んでサービスを展開していて、高くても約19人民元（400円弱）

世界的でバッテリーEVの市場急拡大が進んでいる。

それは単なるEVではなく自動運転機能やエネルギー管理機能を

搭載したSmart EVXともいうべきクルマに進化しており、

高度な半導体とソフトウェア・ネットワークが必須になっている。

## 目次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション
2. 取組み背景：国内外の動向
  - ① ITSの大変革 ②世界のEV急拡大 ③自動運転の動向
3. **2023年 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ**  
データから考える地域の課題解決 WS参加者アンケート分析
4. **2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動**
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
6. アカデミーITSモビリティ研究会開催概要
7. 2023年度 取組み体制
8. **活動計画・実績表 2023年度活動実績**

# 2023年度 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ

－ 2021～2022年度の調査結果より －

背景：・九州域での次世代モビリティ取組みが全国比で低い。・福岡県自治体アンケート調査・訪問交流・実態調査で自治体の深刻な交通課題・ニーズを明確にした。  
 ・従来の限定的な自治体交流から広域の自治体交流拡大のニーズが強い  
 ・クルマ大転換 \*CASE時代の次世代モビリティ・MaaS取組みの最新情報をタイムリーにシェアし、自治体連携での支援・展開が求められている

## 自治体の深刻な交通課題

- ①収支改善・財源不足 57%
- ②運転手不足・二種免許 36%
- ③公共交通利便性の広報活動 36%
- ④交通空白地の解消 36%

## 自治体のニーズと想定される解決策案

- ①自動運転 57%
- ②他地域事例の情報収集 43%
- ③他の自治体・企業との関係強化 35%

\*自動運転は世界的にEV（電動車）への搭載が加速化している（EVファーストの1要因）

交通課題項目	市町村	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
収支改善・財源不足	8	○	○	○	○	○			○	○			○		
公共交通利便性の広報活動	5	○		○						○	○				○
モネの予約アプリ促進	1	○													
緊急課題無し	1		○												
既存交通の結節強化	2		○										○		
コミュニティバスの充実要望	1			○											
運転手不足・二種免許	5				○	○	○	○				○		○	
交通空白地の解消	5				○			○			○				○
近隣自治体と連携不足	1					○									
高齢者のスマホ操作	1							○							
交通に充てる財源不足	1								○						
タクシー会社との課題	1									○					

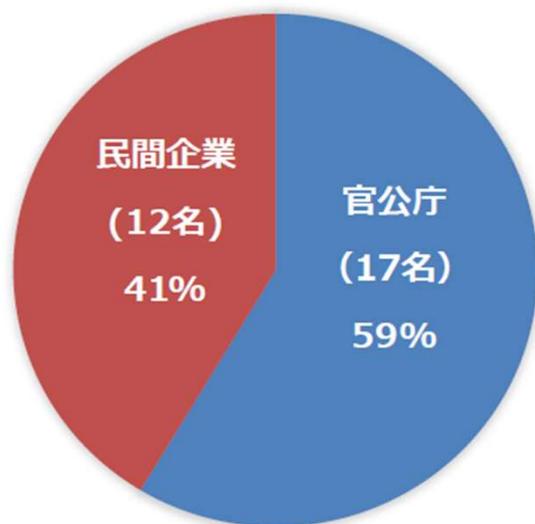
ニーズ		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
他地域事例の情報収集	6	○	○	○		○	○	○							
他の自治体・企業との関係強化	5	○		○		○				○	○				
施策の検討	1		○												
市民を交えた公共交通改善策	1									○					
交通計画策定に関する情報収集	1												○		
既存公共交通の効率的な増強	1														○
経路検索施策	2													○	○
イベント通じたほか自治体連携	3				○	○	○	○	ブルーピング						
市民の外出押し出し	1	○													
自動運転に関心あり	8	○		○	○	○	○	○				○		○	
オンデマンド	2													○	○
JR/バス定期券統一	1								○						
自家用有償旅客運送	1									○					
鉄道運行可能な小型モビリティ	1									○					
観光地周遊などのGSM	2									○				○	
〇割も活用した新モビリティ	1										○				
コミュニティバスの利用促進に係る情報や企業提案	1											○			
自家用車の移動データの集約分析	1												○		
軌道鉄道の利活用	1													○	

\*CASE：C:コミュニケーション A:自動運転 S:シェアリング E:電動化

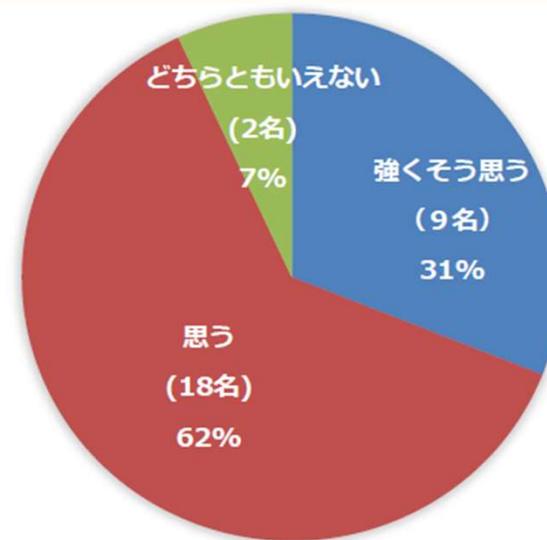
# データ活用ワークショップ～データから考える地域の課題解決～参加者アンケート（一部抜粋）

2023年1月16日実施

Q.アンケート回答者属性（選択式）



Q.周りの人や同僚にこのプログラムを勧めたいと思いますか？



Q.本日のWSについて、感想や振り返りについてお聞かせ下さい。

- データ活用の基礎について学ぶことができた。
- ワークショップを通じて、データ活用から政策立案までの過程を体験することができた。
- ペルソナを設定し、その人のウェルビーイングを考えながら、どのようなデータを活用するのかを考えるという思考がとても参考になった。
- データから課題を検



Q.全体を通して、ご意見・ご感想などがあればお聞かせ下さい。

- とても有意義なワークショップだった。
- あまりこういう機会がないため新鮮で楽しく行うことができた。
- いろいろな分野で活躍されている方と交通の課題について検討するのは楽しかった。勉強になった。
- 進み方などで理解しにくい部分もあったが、有意義なワークショップだった。
- データの活用を自



# 2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動

課題  
従来取組みの限界

- ・自治体の交通課題解決には従来の取組に限界が生じている
- ・実証検証のほとんどが持続可能な社会実装に至らず、収支悪化、継続取組み困難な状況
- ・新たなテクノロジーと新たな価値を生み出すビジネスモデルでの取組みが求められている

ニーズ  
情報収集・交流  
への期待

- ・新たなテクノロジーでの取組みや他地域事例の情報収集・新たなビジネスモデル等の情報収集・交流、情報シェアなど、1自治体を越えた広域での効率的な取組みへの期待
- ・自治体も他自治体との連携・交流を期待
- ・各自治体とも取組みへの新たな財源確保が必要

課題・ニーズへの  
MaaS提案

- ・自治体、MaaS関連企業、県・官公庁各九州局、大学・研究機関連携の九州MaaSマッチング交流会  
・データ利活用によるFS事業取組みで自治体の参加希望・期待が明確になった

2023年度活動  
自治体交流拡大  
支援強化

- ・九州MaaSマッチング交流会を継続的に開催、九州アカデミーITSモビリティ研究会連携
- ・MaaSマッチング交流会を通じて期待されている自治体への支援を強化し、交流を拡大する

データ利活用  
先端モビリティ

内容：・福岡モビリティショー開催 先端モビリティワールド提案（12月23日～25日開催）  
・自動運転システム研究セミナー開催（2024,3月25日）

対象：九州域内の地方自治体、MaaS商品・サービス・技術を有する会員企業・先端企業

- 交通計画の作成等に役立つ情報が得られる ■そうそうたる参加企業が一堂に揃う
- 多くの企業、自治体、官公庁（九州）・他と名刺交換・情報交流ができる ■九州のMaaS関連の大学連携を打ち出す



## 目次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション
2. 取組み背景：国内外の動向
  - ① ITSの大変革 ②世界のEV急拡大 ③自動運転の動向
3. 2023年 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ  
データから考える地域の課題解決 WS参加者アンケート分析
4. 2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
6. アカデミーITSモビリティ研究会開催概要
7. 2023年度 取組み体制
8. 活動計画・実績表 2023年度活動実績

福岡モビリティショー開催へ 先端モビリティワールド提案  
データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組

北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議・福岡県商工部自動車・水素産業推進課から受託



## 福岡モビリティショー福岡県会場展示取組み 九州の次世代モビリティを共創する取組み

# 次世代モビリティ体感展示・試乗

展示の主旨・概要：

- ①コンセプト立案→体感素材収集、方向性策定、テーマ・コンセプト設定
- ②各社との企画検討・立案→体感出展内容（各社打ち合わせ 実演・映像→VR展開）

# 福岡モビリティショー展示取り組み 九州の次世代モビリティを共創する取り組み

- ① **地元力強化** ・企業（Next システム社、ゼンリン、Qtnet, 関家具：福岡）  
・大学（久留米工業大学：福岡・熊本学園大学：熊本）
- ② **連携のない異業種間コラボ開発で新たな付加価値を生み出す共創**
  - ・VR/ARのNextシステム＋3D都市モデル地図のゼンリン
  - ・自動運転の久留米工業大学＋地元大手家具メーカー 関家具
- ③ **地場企業の異分野交流・次世代モビリティ創造チャレンジ**
  - ・高速通信のQtnet＋電動三輪シェアバイクサービス
- ④ **国内外のグローバル企業とのコラボ**
  - ・交通流の世界的シミュレーション（PTVジャパン）
  - ・自動走行時の道路・運転環境のシミュレーション・会話型オンデマンド交通（RYODEN）
- ⑤ **将来の地元力アップ 人財育成**：若い世代の異業種交流・共同開発

## 展示会の具体的な内容・展示方法

### <テーマ> 1. 観光・イベント向け新型自動運転モビリティ（自動運転長椅子）試乗 MaaS CASE

展示テーマ：観光・イベント向け新型自動運転モビリティ（自動運転長椅子）試乗  
久留米工業大学と株式会社関家具のコラボ共同開発

会社名：久留米工業大学インテリジェント・モビリティ研究所所長  
担当窓口：氏名：東大輔 教授 メール：azuma@kurume-it.ac.jp  
Tel：0942-22-2345 住所：久留米市上津町2228 - 66  
会社名：株式会社関家具 コントラクト商品部 次長 多田昌史  
Tel:0944-87-1873 住所：福岡県大川市幡保201-1

展示内容（解説・図・写真）：

観光・イベント向け新型自動運転モビリティ（自動運転長椅子）試乗  
久留米工業大学と株式会社関家具のコラボ共同開発



吉野ヶ里歴史公園らくらく散歩 自動運転モビリティ、1月導入へ 家族連れや高齢者サポート



導入が予定されている、ベンチ型の自動運転モビリティ＝神埼市郡の吉野ヶ里歴史公園

要望事項：  
7/24/6/21  
備考：

一般社団法人 EMOBIA

## 展示会の具体的な内容・展示方法

<テーマ>

CASE 2. 近未来の空飛ぶ車体験 (AI・XR(AR/VR/MR)、メタバースシス) :  
株式会社NEXTシステム社と株式会社ゼンリンのコラボ共同開発

MaaS  
CASE

- ①空飛ぶクルマのVRシミュレーション
- ②ゼンリン 3D都市モデルマップ (福岡市内) コラボ



展示テーマ: 「空飛ぶクルマ」バーチャルリアリティによる運転体験

担当窓口: 氏名: NEXTシステム

メール: k-owada@nextsystem.com

Tel: 住所: 福岡市南区井尻3-12-33

展示内容 (解説・図・写真): 取組みの目標・課題・連携

NEXTシステム社と株式会社ゼンリンのコラボ共同開発

ゼンリンの3D都市モデルマップを活用したNEXTシステムのバーチャルリアリティ「空飛ぶクルマ」運転体験



要望事項:

備考: 2024/6/21

一般社団法人 EMOBIA

## 展示会の具体的な内容・展示方法

<テーマ>

MaaS  
CASE

### 3. 自動走行時の道路・運転環境のシミュレーション ・会話型オンデマンド交通

展示テーマ : 自動走行時の道路・運転環境のシミュレーション ・会話型オンデマンド交通

会社名：株式会社 RYODEN

担当窓口：氏名：松村保明

メール：Yasuaki.Matsumura@mgw.ryoden.co.jp

Tel：090-8671-4582

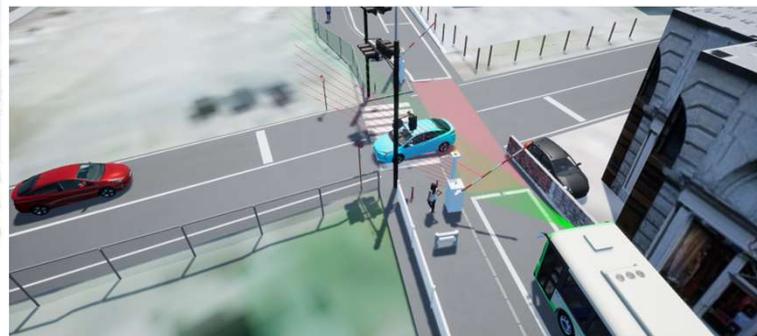
住所：名古屋市中区錦2丁目4番3号

展示内容（解説・図・写真）：取組みの目標・課題・連携

#### 3D空間を用いたMaaSのリスク検証ツール

MaaSに登場する移動体(モビリティ/その他車両/人)の動きを3Dの仮想空間の中で再現し、あらゆるシチュエーションにおけるモビリティサービスのリスクを視覚的に確認できます。

**LiDARセンサの検知範囲を表示する機能や設置カメラ視点の表示**にも対応しています



要望事項：

備考：

## 展示会の具体的な内容・展示方法

<テーマ>

### 4. アクティビティベースドメソ交流シミュレータMAUMS

MaaS

展示テーマ：アクティビティベースドメソ交流シミュレータMAUMS

会社名：熊本学園大学

担当窓口：氏名：溝上 章志 教授      メール：sh-mizokami@kumagaku.ac.jp/

Tel：096-364-7149      住所：熊本市中央区大江2丁目5番1号

展示内容（解説・図・写真）：取組みの目標・課題・連携

#### リアルタイムオンデマンド型乗合タクシーサービスの 運用シミュレータの構築

##### 都市の人の動き・交通状況を再現する交通シミュレータ「MAUMS」

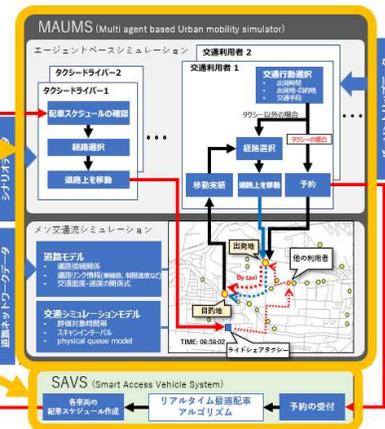
- 対象地域の人々の交通選択行動を模擬（エージェントベースシミュレーション）
- ・ 個々の交通利用者（エージェント）の属性や交通選択行動モデルを入力
  - ・ 各エージェントがそれぞれのルールや属性に基づき1日の交通行動を決定
- 対象地域の交通状況を再現（メソ交通シミュレーション）
- ・ 各エージェントが選択した交通行動を行った場合の1トリップ単位の移動プロセスをシミュレート
  - ・ 各道路リンクについて渋滞などの発生やその影響を表現

要望事項：

備考：

##### リアルタイム最適配車システム「SAVS」との連携

実際のタクシー利用者やタクシー車両がSAVSとやり取りをする通信部分を、MAUMS上の交通利用者エージェントやタクシー車両エージェントとの通信に置き換え



2024/6/21

一般社団法人 EMOBIA

## 展示会の具体的な内容・展示方法

<テーマ>

MaaS  
CASE

### 5. マルチモーダル交通シミュレーションソフトウェアモデル（世界で展開中）

展示テーマ：マルチモーダル交通シミュレーションソフトウェアモデル

会社名：株式会社PTVグループジャパン

担当窓口：氏名：端野良彦 代表取締役 メール：Yoshihiko.hashino@ptvgroup.com

Tel：090-3902-4946 住所：東京都世田谷区上北沢4-15-13パーク上北沢4-15-13  
フィ.パーク上北沢2F

展示内容（解説・図・写真）：取組みの目標・課題・連携

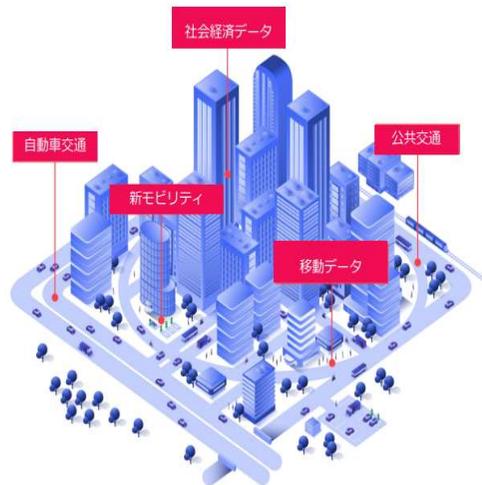
世界をリードするマルチモーダル交通シミュレーションソフトウェアであるPTV Vissimは、すべての道路利用者の交通パターンをデジタルで再現します。世界中の交通プランナーやエンジニアに信頼されているPTV Vissimは、交通施設の性能を評価し、改善します。その結果は、交通計画の意思決定の基礎となり、渋滞や排出ガスなどの

■ PTV Visum: 様々な交通施策の効果影響をマクロな視点で評価

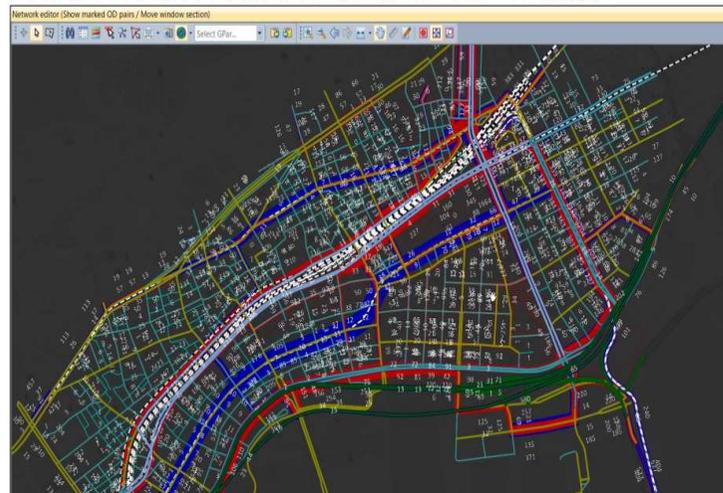
■ 交通計画シナリオに対する道路交通量、公共交通利用者数および交通機関選択率（モーダルシェア）を予測  
■ 道路通行料金・公共交通料金設定に対する交通機関選択率（モーダルシェア）の感度分析

要望

備考



IoT



## **浦代表理事 講演ビデオ：EMoBIAの取り組み活動について**

—全国組込み産業フォーラムにて講演@名古屋 20231027—



会議室2  
12/22(金)  
~25(月)

4.01m 1.59m 2.41m 2.39m 4.82m 2.39m 5.61m 1.59m 4.44m

100W

100W

1500W

**EMoBIA**  
Everyone's Mobility by ITS Association  
一般社団法人 EMoBIA  
3m x 4m  
12m<sup>2</sup>

熊本学園大学  
3m x 4m  
12m<sup>2</sup>

3Dマップ Next System + ゼンリン  
5m x 5m + 4m x 1.8  
32.2m<sup>2</sup>

空飛ぶクルマ自動運転VR試乗



空中ディスプレイ  
1m x 1m  
1m<sup>2</sup>



徳島大学  
20m<sup>2</sup> (5 x 4m)  
空飛ぶクルマ

2.8m

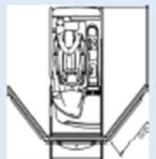
RYODEN  
2.5m x 5m  
12.5m<sup>2</sup>



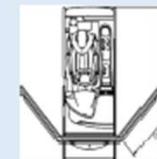
PTVグループ  
ジャパン  
2.5m x 5m  
12.5m<sup>2</sup>



フォーラムエイト  
50m<sup>2</sup> (5 x 10m)



モーションシート



2.5m

EV関連  
51.2m<sup>2</sup> (12.8 x 4m)

(出前電動化道場  
EV分解部品)

- 展示台①
- 展示台②
- 展示台③
- 展示台④
- 展示台⑤
- 展示台⑥

三菱自動車  
(EVバッテリー使用街路灯)

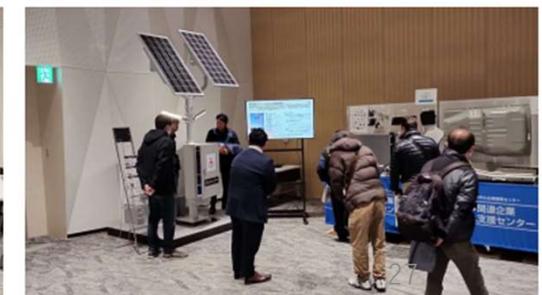
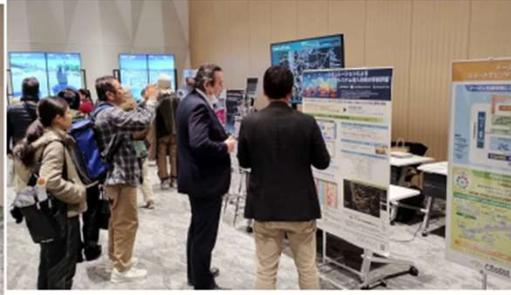
1500W 1500W 315W 100W

☺: コンセント設置

29.2m

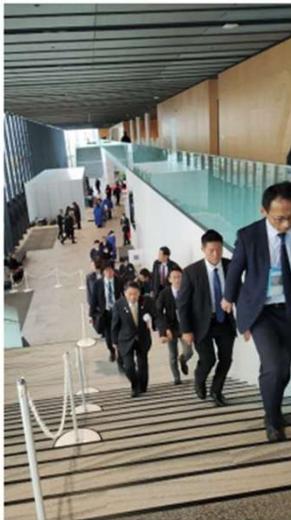
12.8m

# EMoBIAブース展示状況 20231223~26



## EMoBIAブース展示状況 20231223~26

### EMoBIAブースに服部知事が来所されました



# EMoBIAブース展示状況 20231223~26

## EMoBIAブース



# EMoBIAブース展示状況 20231223~26

## B館2階ブース



# 自動運転システム研究セミナー開催

福岡県中小企業振興センター 401大会議室

20240325

# 県からの自動運転研究システムセミナー検討依頼 ← 福岡モビリティショー

北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議・福岡県商工部自動車・水素産業推進課から受託

令和5年度CASE部品研究会

## 自動運転システム研究セミナー

参加  
無料

北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議では、急速に技術革新が進められ、今後大きく普及が見込まれる「自動運転」について、自動運転の動向に関する国内外の最新情報を共有する研究会を開催することで、地元企業の研究開発力を高め、自動運転技術の普及や進化に対応できる企業を育成し、地元企業の取引拡大・新規参入を支援します。ぜひご参加ください。

**日時** 令和6年3月25日(月) 13:30~17:00

お申込みは  
こちら

**会場** 福岡県中小企業振興センター 401会議室  
(福岡市博多区吉塚本町9-15)

**定員** 100名

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/Y0rL0yI3>



### プログラム

- 取組紹介** 福岡県商工部自動車・水素産業振興課長 中野 信哉  
13:00~13:10
- 基調講演** 「自動運転に関する取り組みについて」  
国土交通省 九州運輸局 自動車技術安全部 技術課 課長 小宮 洋志 様  
13:40~14:10
- 特別講演** 「国内外のL4自動運転動向、普及する上での技術的課題及び導入時の法整備、ルール等について」  
名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授 野辺 継男 様  
一般社団法人EMoBIA技術顧問  
14:10~14:50  
- 休憩 -
- 技術講演①** 「AD/ADAS関連の活動実績と取組状況等について」  
株式会社ゼンリン(モビリティ&スマートシティ)AD/ADAS推進部 部長 安部 真太郎 様  
15:00~15:25
- 技術講演②** 「西鉄グループにおける自動運転バスの取り組みについて」  
西日本鉄道株式会社 自動車事業本部未来モビリティ部 部長 日高 悟 様  
15:25~15:50
- 16:00~17:00 **一意見交換会・名刺交換会** 参加無料！ぜひご参加ください！

主催 北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議・福岡県商工部自動車・水素産業振興課

【事務局(お問い合わせ先)】 一般社団法人EMoBIA (エモビア) Mail: [emobia\\_info@emobia.or.jp](mailto:emobia_info@emobia.or.jp)

#### 特別講演

「国内外のL4自動運転動向、普及する上での技術的課題及び導入時の法整備、ルール等について」



名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授 野辺 継男 様  
一般社団法人EMoBIA技術顧問

#### ＜講師紹介＞

1983年 NEC入社、国内外のPC事業に従事。2001年ネットワークゲーム会社設立CEO  
2004年日産自動車入社、Vehicle IoTの開発・事業立ち上げ統括  
2012年 インテル入社、自動運転及びモビリティサービスの事業開発と政策推進を担当  
2014年 名古屋大学未来社会創造機構客員准教授を業務。(2023年1月より客員教授)  
バッテリーEV、ソフトウェア・デファインド・ビークル(SDV)、エネルギー・マネージメント等が専門。各種メディアで多数執筆、TV等にも出演

L4の自動運転では、異なる状況や例外事項への対応、更には人手の介入の在り方、自動運転に対する市場受容性の在り方など、いくつか大きな課題がまだ存在します。しかし、センサー技術の高度化やシステムの信頼性、セキュリティやプライバシー強化などの技術的に解決すべき要因は、半導体やソフトウェアの進化により大きく改善してきており、更に過去1年程度のLLM (Large Language Model)等の劇的な進化も利用する事で、特定のエリアでは自動運転を実現するソフトウェアは今まで以上の速度で進化し、近々人間の運転を超える可能性もあり得ます。そうした現状から今後に向けた状況の変化についてお話させていただきます。

#### 技術講演①

「AD/ADAS関連の活動実績と取組状況等について」  
株式会社ゼンリン モビリティ事業本部 (モビリティ&スマートシティ)  
AD/ADAS推進部 部長 安部 真太郎 様



住宅地図データやカーナビゲーションシステム向け地図の整備・提供を手掛けるゼンリンがこれまで取り組んで来た運転支援、自動運転向け地図の取組、実績の紹介と現在取り組んでいる内容についてお話しします。

#### 技術講演②

「西鉄グループにおける自動運転バスの取り組みについて」  
西日本鉄道株式会社 自動車事業本部未来モビリティ部  
部長 日高 悟 様



西日本鉄道ではグループ企業や国、地方自治体、自動車メーカー、沿線企業、地域の方々など多くの関係者のご協力をいただきながら福岡空港および北九州空港周辺エリアにおいて2020年から自動運転バスの実証実験に取り組んでいます。これまでの取り組み内容と背景、今後の展望等についてご紹介いたします。

#### 【会場へのアクセス】

●公共交通機関からご利用の場合





令和5年度 CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー開催 状況  
一般社団法人EMoBIA 20240325

令和5年度CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー開催：  
日時：令和6年3月25日（月）  
場所：福岡県中小企業振興センター 401会議室  
2. ご講演状況：



ご挨拶・取り組み紹介：福岡県商工部自動車・水素産業振興課 課長 中野 信哉様



2024/6/21

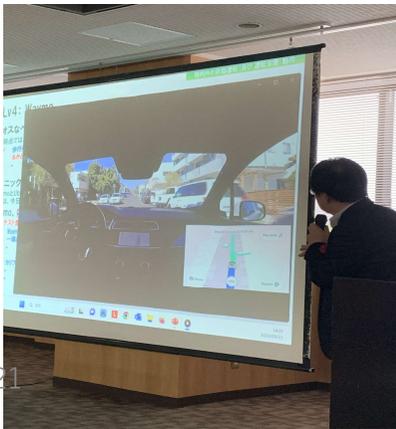
一般社団法人EMoBIA

基調講演：「自動運転に関する取り組みについて」国土交通省 九州運輸局 自動車技術安全部 技術課 課長 小宮洋志 様

令和5年度 CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー開催 状況  
一般社団法人EMoBIA 20240325

令和5年度CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー開催：  
日時：令和6年3月25日（月）  
場所：福岡県中小企業振興センター 401会議室

特別講演：「国内外のL4自動運行動向、普及する上での技術的課題及び導入時の法整備、ルール等について」  
名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授、野辺 継男様 一般社団法人EMoBIA技術顧問



2024/6/21

一般社団法人EMoBIA

令和5年度 CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー開催 状況  
一般社団法人EMoBIA 20240325

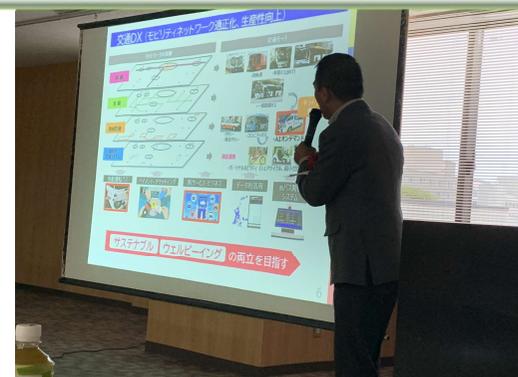
令和5年度CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー開催：

日時：令和6年3月25日（月）

場所：福岡県中小企業振興センター 401会議室 技術講演：①、②



技術講演① 「AD/ADAS関連の活動実績と取り組み状況等について」 株式会社ゼンリンモビリティ事業本部（モビリティ&スマートシティ）  
AD/ADAS推進部 部長 安部 真太郎様



2技術講演② 「西鉄グループにおける自動運転バスの取り組みについて」 西日本鉄道株式会社 自動車事業本部  
未来モビリティ部 部長 日高 悟様

令和5年度 CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー名刺交換会  
 一般社団法人EMoBIA 20240325

令和5年度CASE部品研究会 自動運転システム研究セミナー開催：  
 日時：令和6年3月25日（月）  
 場所：福岡県中小企業振興センター 401会議室  
 内容：3. 名刺交換会 16:00~17:00



質疑応答、司会MC,質問者対応者



名刺交換会：国土交通省九州運輸局小宮様



名刺交換会：名古屋大学・EMoBIA技術顧問 野辺先生



名刺交換会：国土交通省九州運輸局小宮様

名刺交換会：名古屋大学・EMoBIA技術顧問 野辺先生



名刺交換会：西日本鉄道 日高様



名刺交換会：ゼンリン 安部様



名刺交換会：最後の最後まで

# データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取り組み

## 0. CASEトレンドとは？

- コネクティッド化、電動化、自動運転、シェアリング化などの産業構造を大きく変える可能性のある変化、いわゆる「CASE」トレンド到来により、自動車産業には事業モデルの変革が求められる。



出所：Deloitte分析

2024/6/21

一般社団法人 EMOBIA

**令和5年度CASE部員研究会**  
**自動運転システム研究セミナー**

北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議では、急速に技術革新が進められ、今後大きく波及が見込まれる「自動運転」について、自動運転の動向に関する国内外の最新情報を共有する研究会を開催することで、地元企業間の研究開発力を高め、自動運転技術の普及と進化に対応できる企業を育成し、地元企業間の協業・新規参入を支援します。下記要約をご覧ください。

**日時** 令和6年3月25日(月) 13:30~17:00 **お申込みは** コアラ

**会場** 福岡県中小企業振興センター 401会議室 (福岡県福岡市中央区千代1-1-5)

**定員** 100名 <https://shinsei.pref.fukuoka.jp/for04y/>

**プログラム**

**13:30~13:50** 講演 福岡県工部局自動車・水素推進課課長 中野 信哉

**13:50~14:30** 講演 1 「自動運転に関する取り組みについて」 国土交通省 九州運輸局 自動車技術安全部 技術課 課長 小宮 洋志 様

**14:30~14:50** 特別講演 「国内外のL4自動運転動向、普及する上での技術的課題及び導入時の法規制、ルール等について」 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授 野辺 親男 様 一般社団法人EMoBIA技術顧問 様

**15:00~15:20** 講演 2 「AD/ADAS関連の活動実績と取組状況等について」 株式会社センテックシステムズ(株)AD/ADAS課 部長 安部 真太郎 様

**15:20~15:50** 講演 3 「西鉄グループにおける自動運転/の取り組みについて」 西日本鉄道株式会社 自動車事業本部未来センター(部) 部長 日高 浩 様

**16:00~17:00** 一意見交換会・名刺交換会 参加費無料！ぜひご参加ください！

主催：北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議・福岡県工部局自動車・水素推進課

【事務局(お問い合わせ先)】 一般社団法人EMoBIA (エモビア) Mail: [emobia\\_info@emobia.or.jp](mailto:emobia_info@emobia.or.jp)

2024年3月25日開催

**特別講演** 「国内外のL4自動運転動向、普及する上での技術的課題及び導入時の法規制、ルール等について」 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授 野辺 親男 様 一般社団法人EMoBIA技術顧問 様

**講演 2** 「AD/ADAS関連の活動実績と取組状況等について」 株式会社センテックシステムズ(株)AD/ADAS課 部長 安部 真太郎 様

**講演 3** 「西鉄グループにおける自動運転/の取り組みについて」 西日本鉄道株式会社 自動車事業本部未来センター(部) 部長 日高 浩 様

**会場へのアクセス**

自動運転「レベル4」解禁

・社会実装プロジェクトの取り組み強化

・EV 自動運転バスの社会実装へ

福岡モビリティショー  
福岡県会場にて  
EMoBIA展示ブース  
2023年  
12月23日~25日開催

## 目次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション
2. 取組み背景：国内外の動向
  - ① ITSの大変革 ②世界のEV急拡大 ③自動運転の動向
3. 2023年 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ  
データから考える地域の課題解決 WS参加者アンケート分析
4. 2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
6. アカデミーITSモビリティ研究会開催概要
7. 2023年度 取組み体制
8. 活動計画・実績表 2023年度活動実績

## 令和5年度 九州アカデミーITSモビリティ研究会開催概要

開催 第1回～第5回

4月27日	九州アカデミーITSモビリティ研究会発足事前協議会
6月15日	第1回「九州アカデミーITSモビリティ研究会」発足
8月25日	第2回九州アカデミーITSモビリティ研究会
10月13日	第3回九州アカデミーITSモビリティ研究会
12月14日	第4回九州アカデミーITSモビリティ研究会
2月29日	第5回九州アカデミーITSモビリティ研究会

令和6年4月16日

一般社団法人EMoBIA  
九州アカデミーITSモビリティ研究会

日時	テーマ・参加者	概要	研究・事例発表
2023/04/27 15:10～ 17:10	<b>九州アカデミーITSモビリティ研究会発足事前協議会</b> 溝上先生,九州大学,峯先生 福岡大学 小野先生, EMoBIA 浦代表理事,小林事務局長、進	研究会発足事前協議 4/27、研究会キックオフ 5月末、意見交換 勉強会 7月末、成果取り纏め 2024/3月末、次年度運営計画へのまとめ、初年度活動スケジュール案、勉強会 意見交換会 年5回を想定	
06/15 15:00～ 17:15 EMoBIA オフィス	<b>第1回「九州アカデミーITSモビリティ研究会」発足</b> 溝上先生,九州大学大学院 荒川先生 峯先生 (オンライン),福岡大学 小野先生,九州産業大学 稲永先生 安武先生,九州大学内林先生,長崎県立大学 森田先生 (オンライン),宮崎大学 嶋本先生 (オンライン),EMoBIA 浦代表理事,小林事務局長,進	開催挨拶及びキックオフスピーチ 座長 熊本学園大学経済学部教授 溝上 章志様 「テーマ：熊本県内における新たなモビリティサービスの導入事例とその評価～政策と技術の側面から地域MaaSへの展開可能性を探る～」	宮崎大学 嶋本先生より 中山間地 上天草のれな号の事例 2021年11月路線バス廃止に伴う、自家用旅客運送実証実験 利用者 病院を目的とする利用が90% くまもとMaaS勉強会の活動、ピアクレスMaaS、フィーダーバス路線 南北のみで東側エリアなし、 4人乗りAIタクシー2台
08/25 15:00～ 17:15 EMoBIA オフィス	<b>第2回九州アカデミーITSモビリティ研究会</b> 溝上先生、研究委員 熊本大学大学院 尼崎先生 (オンライン)九州大学大学院 峯先生 (オンライン) 福岡大学 小野先生九州産業大学 稲永先生 安武先生 大分大学 大井先生 宮崎大学 嶋本先生 (EMoBIA事務局) 浦代表理事、小林事務局長、進	九州産業大学稲永先生 事例研究発表：地域公共個通向け運行管理ICT、九州産業大学地域公共交通運行管理支援、地域公共交通向け運行管理支援システムの開発・活用、地域公共交通が抱える問題、問題解決のためのICT活用、独自の運行管理システムを高度化	6/23 (金) EMoBIA社員総会にて、溝上先生に九州アカデミーITSモビリティ研究会の発足を発表、次回、PTVグループジャパンの事例紹介をして欲しい
10/13 (金) 15:00～ 17:30 於：熊本 学園大学	<b>第3回九州アカデミーITSモビリティ研究会</b> 熊本学園大学 溝上先生、熊本大学大学院 尼崎先生 九州産業大学 稲永先生 (オンライン) 宮崎大学 嶋本先生 (オンライン) 崇城大学 西嶋先生、久留米大学 駄田井先生、トラフィックブレイン 太田代表取締役社長、東京大学 伊藤先生 (オンライン)、山陽新聞社 久岡記者、浦代表理事、小林事務局長、PTVグループジャパン 端野代表取締役、RYODEN 松村氏井上部長、進	熊本から都市交通とITSを再考していきたい。 トラフィックブレイン 太田代表取締役社長 交通コンサルティング、ナビタイム、電車混雑回避ナビゲーション、ITCを生かせない日本の地域公共 熊本NICT Beyond 5G研究PJ、渋滞と公共交通渋滞率、渋滞が熊本を離れる要因に	PTVグループジャパン 端野代表取締役：ミクロ交通シミュレータ、会社概要 本社ドイツモビリティ コンサルティング、渋滞予測 交通シミュレータについて、交通シミュレーション、日本では、大学研究機関 交通コンサルが顧客 自動車業界 空港事業者 滑走路 海外は行政が利用
12/14 (木) 15:00～ 17:30	<b>第4回九州アカデミーITSモビリティ研究会</b> 小野先生の研究テーマを発表いただく、 話 題提供はみなと観光バスの事例紹介 溝上 章志、熊本大学大学院先端科学研究部 教授尼崎 太樹、崇城大学情報学部准教授西嶋 仁浩、福岡大学工学部 准教授、小野 晋太郎、九州産業大学理工学部 教授 安武 芳紘、宮崎大学工学部 准教授、嶋本 寛 浦代表理事、小林事務局長、RYODEN 松村氏 井上部長 みなと観光バス 代表取締役社長 松本浩之、進	EMoBIAからのお知らせ 浦代表理事：福岡モビリティショー出展概要ご紹介、マリンメッセ B館「空飛ぶクルマ」VRによる試乗体験、人の移動、交通流シミュレータ、交通シミュレーションソフトウェア 道路・運転環境シミュレータ、小野研究室：一般車カメラによるセンシング、自動・手動運転の支援、doライビングシミュレータ、運転しやすい環境とは、自動・手動運転の支援、見えない箇所(死角)の状況把握、車載カメラとカーブミラーによる死角の危険予知、ミラーの検出	みなと観光バス 松本社長：会社概要 開発事業 運行管理システム 「ドコールシステム」、0.5秒単位、デジタルタコグラフ、リアルタイム運行状況 運行履歴 乗降カメラ、GTFSリアルタイム、ドライバー・ヘルス・モニタリング、デジタルバス停、ラストマイル自動運転(実証実験の実施)、コミュニティバス事例 世帯数推移、交通空白地域、調査 需要予測による黒字化



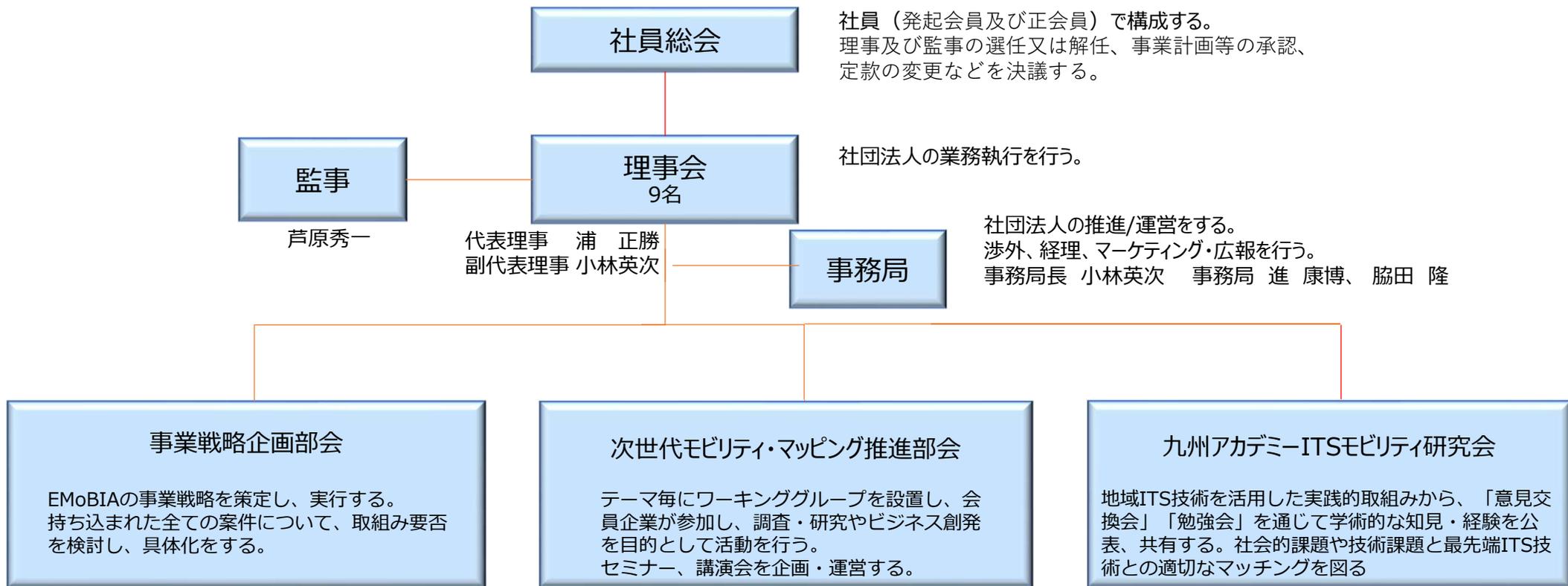
2024年度「九州アカデミーITSモリティ研究会」研究委員名簿

	論文	大学	お名前 (敬称略)	連絡先
研究委員		熊本学園大学 経済学部 教授	眞上 章志	<a href="mailto:sh-miokami@kumagaku.ac.jp">sh-miokami@kumagaku.ac.jp</a>
		熊本大学 大学院先進科学研究部 教授	尾崎 大樹	<a href="mailto:amaizaki@ica.kumamoto-u.ac.jp">amaizaki@ica.kumamoto-u.ac.jp</a>
		熊本大学 情報学部 准教授	西崎 仁海	<a href="mailto:shizaki@info.kyushu-u.ac.jp">shizaki@info.kyushu-u.ac.jp</a>
		九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授	箕川 豊	<a href="mailto:anikawa@it.kyushu-u.ac.jp">anikawa@it.kyushu-u.ac.jp</a>
		九州大学 大学院システム情報科学研究院 准教授	重 信泰	<a href="mailto:shimota@it.kyushu-u.ac.jp">shimota@it.kyushu-u.ac.jp</a>
		福岡大学 工学部 准教授	小野 晋太郎	<a href="mailto:osonob@fukuoka-u.ac.jp">osonob@fukuoka-u.ac.jp</a>
		九州産業大学 理工学部 教授	福永 健太郎	<a href="mailto:fukunaga@ipc.kyusai-u.ac.jp">fukunaga@ipc.kyusai-u.ac.jp</a>
		九州産業大学 理工学部 教授	安武 秀敏	<a href="mailto:yasuhide@ipc.kyusai-u.ac.jp">yasuhide@ipc.kyusai-u.ac.jp</a>
		九州大学 情報基盤研究開発センター 准教授	内林 俊洋	<a href="mailto:uchibayashi.toshihiro@i390m.kyushu-u.ac.jp">uchibayashi.toshihiro@i390m.kyushu-u.ac.jp</a>
		長崎県立大学 国際社会学部 教授	森田 均	<a href="mailto:monta@u-n.ac.jp">monta@u-n.ac.jp</a>
		大分大学 経済学部 教授	大井 昌司	<a href="mailto:osai@u-oita.ac.jp">osai@u-oita.ac.jp</a>
		宮崎大学 工学部 准教授	崎本 寛	<a href="mailto:shimamoto@ipc.miyazaki-u.ac.jp">shimamoto@ipc.miyazaki-u.ac.jp</a>
		久留米大学 名誉教授	数田 正	<a href="mailto:tada@data@gmail.com">tada@data@gmail.com</a>
		久留米大学 経済学部 教授	伊佐 淳	<a href="mailto:isa_wataru@kurume-u.ac.jp">isa_wataru@kurume-u.ac.jp</a>
		北九州国立大学 大学院マネジメント研究科 教授	早田 エマ	<a href="mailto:hata@it.kitpu-u.ac.jp">hata@it.kitpu-u.ac.jp</a>
		熊本大学 くまもと水環境・防災研究教育センター 助教	安藤 安恵	<a href="mailto:andyandou@kumamoto-u.ac.jp">andyandou@kumamoto-u.ac.jp</a>
		熊本大学 工学部 建築学科	真 謙元	<a href="mailto:shimam@arch.kyushu-u.ac.jp">shimam@arch.kyushu-u.ac.jp</a>
		西日本工業大学 工学部 統合システム工学科 電気情報工学系 教授	松田 昭徳	PGメール <a href="mailto:matayoshi@u-tokai.ac.jp">matayoshi@u-tokai.ac.jp</a>
オブザーバ		EMoBIA 事務局 代表理事	浦 正勝	<a href="mailto:mazakata@emobia.or.jp">mazakata@emobia.or.jp</a>
		EMoBIA 事務局 事務局長	小林 英次	<a href="mailto:ei.kobayashi@emobia.or.jp">ei.kobayashi@emobia.or.jp</a>
		EMoBIA 事務局	池 藤博	<a href="mailto:y.uhi@emobia.or.jp">y.uhi@emobia.or.jp</a>

## 目次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション
2. 取組み背景：国内外の動向
  - ① ITSの大変革 ②世界のEV急拡大 ③自動運転の動向
3. 2023年 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ  
データから考える地域の課題解決 WS参加者アンケート分析
4. 2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
6. 2023年度 取組み体制
7. 活動計画・実績表 2023年度活動実績

# 2023年度 EMoBIA 組織体制



## 部会・研究会メンバー

### 事業戦略企画部会

部会長：パナソニックコネク ト 山口和洋 今岡宏一  
：NTTデータ 平尾浩一 椎葉大地  
：東京コンピュータサービス 長井孝行

### 九州アカデミーITSMobility研究会

座長：熊本学園大学 溝上 章志 教授

11大学 16名

### 次世代モビリティ・マッピング推進部会

部会長：PTVグループジャパン 端野良彦  
：インテーループ 木下泰孝  
：ビーコンコミュニケーションズ 田中暁彦  
：ゼンリン 吉村英樹 古野豊起  
：RYODEN 松村保明  
：NTTデータ 椎葉大地  
：RYDE 木下翔太  
：DEGLO 松崎真典

順不同敬称略

## 理事・顧問について

### 代表理事

浦 正勝

### 副代表理事 兼 事務局長

小林 英次

### 理事

木下 泰孝  
古賀 紹公  
福田 晃

片桐 勇一郎  
山口 和洋  
和田 宏  
端野 良彦

### 監事

芦原 秀一

### 顧問税理士

井村 幸男(税理士法人井村&パートナーズ)

### 特別顧問

天野 肇 (ITS-Japan専務理事)

増田 博行(一般社団法人日本道路建設業協会 副会長  
兼専務理事 九州大学 客員教授)

### 名誉顧問

二橋 岩雄(元トヨタ自動車九州会長)

安浦 寛人(元九州大学副学長)

### 技術顧問

石 太郎(早稲田大学環境総合研究センター  
参事・招聘研究員)

時津 直樹(インターネットITS推進協議会事務局長)

野辺 継男(名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授)

森山 誠治(一般財団法人日本みち研究所(RIAS)専務理事)

牧野 浩志(一般財団法人国土技術研究センター(JICE)  
道路政策グループ総括  
都市・住宅・地域政策グループ総括 博士(工学))

今田 一典(元西日本高速道路株式会社九州支社 調査役)

# 一般社団法人EMoBIA会員

## 《正会員》4社

パナソニック コネクト株式会社  
沖電気工業株式会社  
株式会社NTTデータ 製造ITイノベーション事業本部第一製造事業部  
株式会社PTVグループジャパン

## 《賛助会員》14社 1協会 1協議会

電気興業株式会社 九州支店  
インターネットITS協議会  
公益社団法人企業情報化協会 (IT協会)  
株式会社RYODEN デバイスシステム事業本部  
みなと観光バス株式会社  
株式会社オリコム 福岡支社  
ジョルダン株式会社  
東京コンピュータサービス株式会社  
大日本印刷株式会社  
株式会社i7  
株式会社ゼンリン  
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 九州支社  
株式会社ディ・アイ・システム  
アイティアアクセス株式会社  
ジェットコネクト株式会社

## 《スタートアップ会員》 7社

BOLDLY株式会社 株式会社DEGLO  
株式会社HROTTI Hiyoku合同会社  
株式会社eMoBi それいけシステムコンサルティング株式会社  
RYDE株式会社

## 《特別会員》19組織

熊本大学  
北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議  
一般社団法人 JCoMaaS  
一般社団法人筑後川プロジェクト協会  
学校法人 君が淵学園 崇城大学  
久留米大学 経済社会研究所  
公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団  
国立大学法人 大分大学 経済学部門  
九州産業大学 地域公共交通運行管理支援グループ  
長崎県公立大学法人  
東京大学 大学院情報理工学研究科  
九州大学大学院システム情報科学研究院 荒川・峯研究室  
熊本学園大学  
公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所  
福岡大学工学部小野研究室  
一般財団法人 みち研究所  
一般社団法人 日本道路建設業協会  
ZETAアライアンス  
一般財団法人国土技術研究センター

## 《EMoBIA会員入会先》

一般社団法人 九州経済連合会

公益財団法人 九州経済調査協会

インターネットITS協議会

公益社団法人 企業情報化協会(IT協会)

一般社団法人 JCoMaaS

一般社団法人 スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan)

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

## 目次

1. 一般社団法人EMoBIAのミッション
2. 取組み背景：国内外の動向
  - ① ITSの大変革 ②世界のEV急拡大 ③自動運転の動向
3. 2023年 取組み背景・自治体の交通課題・ニーズ  
データから考える地域の課題解決 WS参加者アンケート分析
4. 2023年度 課題・ニーズへの対策検討・取組み活動
5. データと先端技術によるスマートモビリティチャレンジ in 九州の取組
6. アカデミーITSモビリティ研究会開催概要
7. 2023年度 取組み体制
8. 活動計画・実績表 2023年度活動実績

# 2023年度 活動計画・実績

2022年度



定例会議

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
7. 理事会 部会	12.. 理事会 部会	9. 理事会 部会	7. 理事会 部会	4. 理事会 部会	8. 理事会 部会	6. 理事会 部会	10. 理事会 部会	8. 理事会 部会	12.. 理事会 部会	9. 理事会 部会	8. 理事会 部会

理事会(毎月)・事業戦略部会・次世代モビリティ・マッピング推進部会

九州アカデミーITS  
モビリティ研究会 6/15キックオフモビリティ研究会 ▲九州アカデミーITS  
モビリティ研究会 ▲九州アカデミーITS  
モビリティ研究会 ▲九州アカデミーITS  
モビリティ研究会 ▲九州アカデミーITS  
モビリティ研究会 ▲九州アカデミーITS  
モビリティ研究会 ▲

勉強会

開催日程検討  
会員企業セミナー勉強会(年2回実施,自治体含む)

事業推進

立上検討  
EV.自動運転技術勉強会  
月次 Report



次世代モビリティ体感展示・試乗

- ①コンセプト立案→体感素材収集、方向性策定、テーマ・コンセプト設定
- ②各社との企画検討・立案→体感展示内容(各社打ち合わせ 実演・映像→VR展開)

3月~大学連携AC部会準備



令和4年度  
無大自動運転等の  
CASE対応向け  
実証・検証事業  
データに基づく最  
適なモビリティ  
サービスの社会実



九州経済産業局9月受託事業  
2023年1月WS・FS  
2023年2月シンポジウム総括



2022年4月・5月  
MaaSマッチング  
交流会

福岡県商工部  
受託事業  
契約

自動運転システム研究セミナー

報告まとめ

MOBILITY SHOW 2023

12.22 23 24-25

福岡県モビリティショー